



教育目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優しい人になろう</li> <li>・正しい人になろう</li> <li>・たくましい人になろう</li> </ul>
------	---

今だからこそ大切なことは

校長 岩崎 浩示 【全校朝礼での話より】

この時期、学校の周りや公園を歩くと、ほとんどの木が葉を落とし、枝だけになっています。一見すると、冬はすべての命が活動を休止し、眠っているように見えます。しかし、実はこの「葉を落とした姿」こそが、植物たちが生き残るために考えた素晴らしいデザインなのです。

では、なぜ彼らはきれいに色づいた葉を、わざわざ落とすのでしょうか？それは、「乾燥から身を守るため」です。冬の寒さの中では、植物は地中の凍った水や、冷たすぎる水を十分に吸い上げることができません。そんな時、もし大きな葉をつけたままだったら、葉からどんどん水分が蒸発してしまい、体全体がカラカラに干からびてしまいます。これは、植物にとって命取りです。だから、彼らは「これ以上、水を失わないために」と、思い切って葉を切り離し、水の消費を最小限にするデザインを選んだのです。…

少し視点を変えてみます。寒い冬に、あえて美しい花を咲かせている植物もあります。皆さんもよく知っているサザンカやツバキです。多くの植物が活動を休むこの時期に咲くのは、「寒いからこそ、他の植物と競争しなくて済む」という、逆転の発想です。花粉を運んでくれる虫や鳥が少ない冬に咲くため、彼らは「強い」花を咲かせて、貴重な助けを待つのです。

植物の冬の姿は、ただ休んでいるのではなく、「耐える力」、「備える知恵」、「逆境をチャンスに変える強さ」という、大切なことを教えてくれます。ぜひ、登校中や学校の校庭で、枝だけになった木をもう一度見てください。彼らがどんなに頑張っていて、春に向けて命を蓄えているかを感じられるはずです。…

一部を省略しましたが、これは、生成AIで作成した原稿です。いつもの朝礼の話と比較して違いは感じられましたか。それともあまり変わりなく聞こえましたか。

この生成AIについて、株式会社GenesisAIを創業し、今年から北陸先端科学技術大学院大学客員教授となった今井翔太さんは、次のように話します。

「無人島に行ったときに役に立たない仕事は残る（と思う。）」、「生きるために必死になる仕事については、研究者のモチベーションが大きいので、よりAIによる仕事、処理が活発になる。」、「AIには今、研究者また大学院の博士課程レベル以上の能力がある。」

ほかに、「人間は今、自分たちの強みを考える必要がある。また、個人としても『自分も変わる、変わり続けるのだ』という気持ちをもつことが大切である。」、と話します。生成AIがいかに発展しようとも、私たちは生成AIではできないところを見つけ取り組んでいくこと、また常に考え続けていくことが大切であることを示唆してくれています。では、この生成AIはどのように活用していけばよいのでしょうか。

先日、ある自治体では、SNSを通じてクマの目撃情報が発信されました。保育所の近くにクマがいる画像が基となりましたが、後日、「この画像は生成AIで作成したフェイク画像だった」と、作成した本人から申し出があったということです。さらに、目撃の事実そのものがなかったことも判明しました。皆さんは、このような迷惑をかける誤った使い方はしないと思いますが、十分気をつけなければならないとあらためて考えさせられるニュースでした。

また、生成AIは、「プロンプトさえ書ければ何でもできる」と言われますが、私たちが日常で使う『言語』で何かを聞くためには、そもそも自分が何を聞きたいのかを理解していなければなりません。「こんな感じの…」とあいまいに指示をしてもうまくいきません。そのためには前提として、その分野についてある程度体系的な、まとまりのある知識をもっている必要があります。それがなければ、何を考えるべきか、何が問題なのか、何を聞くべきかさえ分かりません。つまり、今学校で学んでいる教科の内容を関連付け、総合的な知識として身に付けていくことが大切なのです。

皆さんが社会で活躍する頃には、AIを含めた情報技術はさらに大きく進展していることと思います。しかし、「学ぶこと」が不要となることはありません。むしろ、「総合的な知識力」が問われる時代となりそうです。そのためにも、「気付きや疑問」を大切にしながら、自分で見つけた課題の解決に取り組む学習、また多くの情報を基とした「考える学習」に主体的に取り組んでいきましょう。

◆◆ 1 月予定表(予定は変更になることがあります) ◆◆

1	木	元旦	17	土	
2	金		18	日	
3	土		19	月	生徒朝会
4	日		20	火	避難訓練
5	月		21	水	
6	火		22	木	SC 来校日
7	水	冬季休業日終	23	金	英検 AET 来校日
8	木	始業式 安全指導 SC 来校日	24	土	
9	金	給食始	25	日	
10	土		26	月	都立高校推薦入試(3)
11	日		27	火	都立高校推薦入試(3)
12	月	成人の日	28	水	
13	火	委員会・中央委員会 AET 来校日	29	木	SC 来校日
14	水	移動教室(1)	30	金	AET 来校日
15	木	移動教室(1) SC 来校日	31	土	
16	金	移動教室(1)	* 行事の後の( )は学年を示します		

<12月の六中>

### 六中ゼミ

今年から始まった、六中ゼミ。自分たちでテーマを決め探究学習に取り組んできました。12月8日に中間発表を行いました。今まで学習に取り組んできた成果や、課題として出てきたことなどを発表する場面です。探究することだけでなく、人前で自分の考えを伝える練習になります。グループの仲間から良かった点や、アドバイスをもらい、今後の学習活動をよりよくしていく時間となりました。

### 六中コラボ

今回の六中コラボは、【「この水をブランド化せよ!!!」-「ミyakミyakの涙」を超えるブランドを君は生み出せるか】というテーマで行われました。講師は高 道德(たか みちのり)さんです。高さんは、アメリカを含む多くの転校を経験してきました。ご自身の転校・海外生活の経験から「人と人、人とブランドをつなぐコミュニケーション」に興味を持ち、現在はソニー・グループ株式会社で SNS やデジタル領域を担当する仕事に従事されています。今回は、ブランディングという作業を通して、ブランドは会社だけのものではないこと、自分自身の強みを認識し、行動することは「セルフブランディング」であることに気づき、自己理解を深めました。ワークショップでターゲットやコンセプトの設定に積極的に取り組む姿がありました。各グループの発表は、自分たちの考えや方向性が反映されたもので、講師の高先生も、六中生の



レベルの高さにびっくりしていました。毎日の授業の中で、考え、発表することをやってきた結果です。六中生は「いつもきちんと取り組もうとする姿勢」が強みです。難しい課題でしたが、しっかりと取り組み・考え・発表することができました。

